

順番にお参りをする参拝者



伊予神楽の世界観に引き込まれ

◎大本神社清明祭

大本神社(内深田)では毎年恒例の清明祭が4月5日に開催され、地元の関係者らが出席しました。当日は、神事の後に国指定重要無形民俗文化財に指定されている伊予神楽を奉納。「うずめ舞」や「盆の舞」などが披露され、境内に集まっていた参拝客からは、1つの演目が終わるごとに盛大な拍手が送られていました。神楽奉納の後には、敷地内で餅まきが行われ、集まった地元の人たちは、昔から変わらない「地元の春祭り」を楽しんでいました。

啓発グッズを手渡す母の会会員



無事故・無違反のまちづくり

◎鬼北町交通安全母の会交通茶屋

3月23日、道の駅・広見森の三角ぼうし駐車場で、鬼北町交通安全母の会による交通茶屋が行われました。毎年、「無事故・無違反のまちづくり」を目指して行っているこの交通茶屋。今年も、マスコットやクッキーなどの交通安全啓発グッズを150セット配布し、交通安全を呼びかけました。母の会会員らが、「年度末の慌ただしい時期、ゆとりを持った運転をお願いします」などと声をかけ啓発グッズを手渡すと、訪れた人たちは「気を付けます」と答え、笑顔でそれを受け取っていました。

ステージ上で自己紹介する新入生



ピカピカの制服に身を包み

◎町内小中学校入学式

4月8・9日、町内小中学校の入学式が行われ、今年度は、小学校81人(好藤小9人、愛治小5人、三島小10人、泉小7人、近永小44人、日吉小6人)、中学校89人(広見中75人、日吉中14人)が入学しました。三島小学校では、保護者や在校生が見守る中、新一年生たちが上級生に手を引かれ、元気よく入場。式典中は、少し緊張した面持ちで、校長先生や在校生からの歓迎の言葉に耳を傾けていました。真新しい教科書を手渡された新一年生は、これからの新しい生活への期待に、胸を膨らませているようでした。

「三番叟」の演目が開演を飾った



さまざまな芸能に、拍手と笑い

◎成川溪谷桜まつり2013

「成川溪谷桜まつり2013」は4月7日、成川溪谷休養センター前の特設会場で開催されました。今年も桜の開花が早かったため、例年のような「満開の桜の下で」とはなりませんでしたが、毎年恒例となった町内の芸能団体による演目の発表を一目見ようと、寒空の中、大勢の人が成川溪谷を訪れました。また、会場では成川溪谷休養センターをはじめ、鬼北きじ工房、三角ぼうしや夢産地による特産品の販売などが行われ、訪れた人々を楽しませていました。